

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年4月18日（火） 19時00分～20時45分		
開催場所	ゆとろ	出席者	16名
出席議員	後藤議長、山田議運副委員長、高谷議員、市川議員、石川議員、稲村議員、秋場議員、佐藤議員		

◎山田副委員長開会

◎後藤議長開会挨拶

本日は、年度初めのお忙しい中、多くの皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。今、当別町が抱える人口減少や少子高齢化の状況の中で、地域社会を維持していくことが、大変困難になっている。当別町をどのように再生できるのかを皆さんとともに、議会も考えさせていただきたいということで、報告会を開催させていただきます。当別町では、子どもが年間60人前後しか生まれていないので、自分が住む地域から、子どもの遊ぶ姿が消えていくことを実感していると思います。将来的なことを考えますと、今の状況では、当別町そのものを維持していくことが難しい状況となっておりますので、今後も町を支えていただく皆さんから、お話しを聞かせていただいて、議会として、今後どう取り組むかを勉強させていただきたいと思っております。議会は、予算を持っておりませんので、町長部局とは、取り組みの仕方が違いますが、私たちは、皆様の代表として、皆さんの意見を町に提言をする。あるいは、これは絶対に必要だと思ったら、町長の意向とは違ってもそれを通していく。なども今の地方議会には求められていると思います。皆さんと意見交換する中から、共有の課題を見つけ、それをともに解決をしていく。そのための報告会としたいと思っておりますので、短い時間ではありますが、よろしく願いいたします。

◎各定例会・議会改革の取り組みについて報告（秋場議員、佐藤議員、稲村議員）

○（町民）12月の議会で意見書が、3件が出されているが、誰が出せるかやその流れは、どのような仕組みであるのか。

○（議会）意見書は、町内外関係なく、誰でも出せる。皆さんが所属する団体で、町への提案や意見がある場合、町に言っても良い。また、議会に言って、趣旨を説明してもらっても良い。議会としては、その趣旨に基づき、適切かを審査し、それが議決されると、町に要請する。個人でも出せるが、団体として出したほうが、より多くの意見ということで、議会としても意見を反映しやすくなると思う。

○（議会）首長と議会の両方に出しても良い。憲法では、請願は権利であり、日本全ての組織に対して請願はできるし、必ず受け取らなければならない。

○（町民）意見書を議会に出し、議決されると首長へ出されるという流れであると思うが、何をもって、首長へ出されたことが確認できるのか。

○（議会）議会から首長に提出され、担当部局が検討し、必ず回答書を出す。その回答書の中では、「検討する。」など色々な表現があるが、結果的には、「予算がつく。」

つかない。」が、実質的に「やる。やらない。」の判断となる。

◎懇談

○（町民）結婚して間もなく、今は、夫婦共働きで子どもがいない。先日、夫婦で、子どものことについて話した。子どもを生むとしたら、妻が仕事を辞めなければならず、金銭的に厳しく不安だという話しになり、すぐに子どもをつくろうという気持ちにはなれなかった。色々な助成があることは、今回の資料を見てわかったが、夫婦の中では金銭的な問題が大きい。そこで、提案であるが、年収別や出産・保育園・小学校・中学校などの各段階で幾らかかるのかがわかるライフシュミレーションができれば、不安も解消されると思う。例えば、当別町と札幌市の比較ができ、当別では、保育所の待機もなく、すぐに働くことができ、教育費もこれくらいしかかからないということがわかるようなものがあれば、当別に引っ越し、子どもを生もうという人もいるのではないかと思った。

○（議会）子どもを生んだ先輩の話を聞くことは、非常にわかりやすいと思う。

○（議会）子どもが生まれたら学資保険をかけると思うが、高校や大学入学時に保険金が幾らおりるとかあるので、保険会社に聞くのも良いと思う。自分なりに、色々な人から聞きながら、自分なりの生涯設計を作っていくべきであると思う。

○（町民）例えば、各自治体の比較ができれば、当別のメリットもわかりやすい。

○（議会）町が行う子育て支援は、子どもが生まれたら情報がたくさん入るが、子どもを生む前の方々への情報発信は、しっかりできているのかなと思った。どこまで情報が届いているかは、改めて考える必要があると感じた。

○（議会）今、言われていることは、他の自治体と比較して、当別町のメリットをどのように発信できるかということであると思うが、一般論として、子育ての費用については、ネットで調べるとわかる。個人がどのように対応するかは、学資保険や色々な方法があり、その他に行政として、子育てや教育に対する支援をお知らせする。それで、他の自治体との比較がわかると思う。行政が行う個人に対する支援については、できることとできないことがあるということだけは、ご理解いただきたい。

○（町民）質問であるが、現在、当別町で、子育て世代など新たに家を建てる方や土地を買う方に対し、助成はあるのか。また、今後に向け、考えていることはあるのか。

○（議会）他の自治体では、親と同居するためのリフォームなどに対し、補助を行っているが、当別町では、残念ながらない。

○（町民）当別町に住んでもらいたいとなったときに、一番の問題は、お金であると思うので、補助や助成などがあれば良いと思う。

○（議会）石狩市でも、子育て世代が、市外から来た場合に、空き家などをリフォームして子育てするのであれば、幾らか助成されると、確か、新聞に載っていた。他の多くの自治体でも行っている。議会として、要望として受けたい。

○（議会）石川県や富山県や福井県は、3世代の同居が非常に盛んで、子どもの面倒を親がみてくれる。非常に幸福度が高い県である。できたら3世代で住む。これは、我々議員が町に提案していくということでは、大事なことであると思う。要望という

ことで、我々に直接投げかけられたという扱いでも良いのかなと思う。

○（町民）この町で子育てしたいかを考える前に、まずは、この町に、子育て世代が定住できる環境があるのかが、重要である。その中では、やはり労働環境が、この町で家庭を築けるかの土台であり、根本の問題であると思う。私は、この町で農業を営み、私自身、この町の子育て施策については、待機児童もなく、他の市町村と変わらない支援もあり、概ね充実していると感じている。私には、子育てできる環境があり、親が築いてくれた資産もあり、ずっと農業をやっているが、若い人たちが、この町に入り、暮らせる基盤をまずは作らなくてはならないと思う。例えば、就労支援など、農業のことで言えば、他の市町村では新規参入への支援も行っており、そこに家族で来て、人口が多少なりとも戻ってきている地域もある。このような、町に定住してもらえるような方法があれば、人口減少に歯止めがかかると思う。まずは、そこから始めなければ、この町で子育てしたいとはならないと思う。次に、公園の遊具について、妻からの要望であるが、まず当別町に使える公園がすごく少なく、実際に使える公園は、太美にあるあいあい公園しかないと言っている。このような環境では、この町で子どもを育てる気がなくなり、当別に対する愛着も感じなくなり、江別市や札幌市に行ってしまうと思う。その中で、100万という金額であるが、どこまで公園を直すことができるものなのか。もっとこの町が、子育てを推進したいと思うのであれば、もっと手厚くしたほうが良いと思う。

○（議会）公園の遊具であるが、28年度に公園施設長寿命化計画を策定し、29年度予算は、遊具を設置するものではなく、阿蘇公園にどのような遊具が必要で、どの場所に設置するのかを設計するためのものである。阿蘇公園の遊具は、古いものが多く、老朽化が進んでいるので、新しい遊具にするため、国から補助を受け、皆さんから色々な意見を聞き、決めていくための予算であると考えて良い。

○（議会）公園について、去年の暮れに、PTAや育成会等の団体が、町長へ意見書を提出し、次期行うことと、子育て世代の方の意見を取り入れ行なっていくということであった。しかし、話しを聞くと、国から補助を受けると、自分たちが望むような公園に変えたいと思っても、色々な補助の要件があり、望むような公園には変えられないということになっている。それが全くできないということではないが、公園の中には、幼児用や低学年用とか、用途によって置かれる遊具が変わる。そこに当てはまる遊具でなければ、置けないという仕組みがある。阿蘇公園で言うと、例えば、手前の砂場がある遊び場は、小さな子の遊び場であるため、大きな遊具を設置することは、今の公園の利用計画ではできない。皆さんが、阿蘇公園を安全に楽しく利用できるようにしてもらいたいと言っても、国の制度を使うと、それができないこともある。今後、行政に、子どもたちのための公園作りとなるよう、議会としても積極的に言うが、皆さんからも積極的に言うてもらいたい。それと、子育て世代をどう呼び込むかは、就労などの環境が整っていなければならないということは、当然そうであると思う。先程の意見で、子どもができると、奥さんは仕事を辞めなければならないと話されていたが、国は、今、女性が参画する社会をどのように作るか動いており、当別の企業であっても、産休を認め、その後職場に復帰できる環境を作っていないと、子育て

しながら働く環境にはならないと思う。企業に対しても、町が支援をするなり、国の補助を受けて助成するなりしていかないといけないと思う。

○(町民) 私の家では、かなり人手が足りなく、バイトの募集をかけているが、来るか来ないかわからない状況である。働く場所はあるが、広報の部分で、個人では弱いので、役場も一体となり、手助けしていただければ、双方に効果が出ると思う。また、就労支援について、最近の若者の意見を聞くと、「独立したい。」と今は起業家にシフトしていると思う。起業家支援に力を入れると、この町に定住する人も増えると思うので、こちらも考えていただけたらと思う。

○(町民) 起業ということでは、商工会と町と国とで、創業塾というのを今年もまた6回ほど計画しており、その案内がこれから出てくるはずであるので、是非、企業したい方がいましたら、受けていただければと思う。

○(議会) 公園の話が出ていたが、北海道は、雪がたくさん降り、雪のある間も子どもたちが遊べる環境を作らなければならない。例えば、長岡市や東出市では、子どもたちが雪の中でも遊べるようなエリアを作っている。長岡市には、5つもある。当別でも冬に子どもたちが遊べるエリアを作ってほしいという、子育てをしている方からの要望が上がってこない、なかなか実現しない。機会があれば、皆さんで話し合い、声を挙げていただければと思う。

○(町民) 多くは、求めないが、子ども達が安全に遊べる場所がほしいということが、本質であるようだ。もし、意見を聞くとしたら、本当の当事者である妻たちの話を聞く場所を設けてもらったほうが良いと思う。

○(町民) 阿蘇公園に、水をはっていない池のようなところがあるが、埋めたりすることは考えていないのか。お祭りのときなど、小さな子が、転び、落ちたりしているので、使わないのであれば、埋めた方が安全であると思う。

○(議会) 危険なので、放置して良いとは、思っていない。ただ、今までは、お金がなく、どうすることもできなかったが、町としては、長寿命化計画での改修を検討していると思う。ただ、どのように変えるかは、まだこれからの議論である。

○(町民) 自分の子どもは、既に大きいですが、子どもが小さいときから思っていることがあり、当別には、病院がないので、産むとしても、江別か札幌へ行かなければならない。例えば、江別に行くにしても、冬の吹雪のときに、夫が仕事で忙しく、自分は、お腹が張って動けない。タクシーで行ったら、助成が出るなど、何か助かるなど感じることをしてあげてほしいと思う。また、病院は、小児科、耳鼻科、皮膚科などがなく、自分の世帯は、あいの里にある病院にお世話になった。その病院には、当別の方もたくさん行っていた。江別の病院へ行っても、当別の人がたくさんいた。当別の病院へも行くが、薬が玉で、結局、子どもは飲むことができない。また、ノートやシャープ、一つ買うにしても、町外へ行き、自分たちの好みのものを買っている。靴下にしても、当別に置いてあるお店はあるが、好みがあるので、町外まで買いに行っている。当別にも大型スーパーがあれば、町外へ行かなくて済む。

○(議会) 皆さんから意見を言うていただくことは、凄く有益であるが、例えば、今、言われた小児科や産科がない。町がお金をかけ、小児科医や産科医を呼んでこれたと

しても、それだけ皆さんの負担が増えるので、それは、得策ではないと思う。例えば、出産するときに、吹雪であると自分では絶対に運転して行けない。そのようなときにどうするか。その対応ができれば、少しは安心であると思う。

○（町民）子どもを生むときに、助けて下さいと言っても、助けてくれなかった。

○（議会）今、ボランティア活動で、高齢者の方の病院への送迎を行なっているが、妊婦さんに対して、そのようなサービスがないとしたら、仕組みを変えることや新たに制度を作ることは、可能であると思う。できないことを要求するのではなく、発想を変えたらできそうなことを皆さんとの話し合いの中から提案できたら良いと思う。また、核家族化の話があったが、近所のおじいちゃん、おばあちゃんを全く知らないという家庭も多い。ネットを見ると、子育てのブログやホームページがたくさんあり、当別町の方が集うようなサイトを町が主催し、色々な情報を相互にやり取りできるような仕組みを作ったら、当別町は、子育て支援に力を入れているというアピールにもなると思う。確かに、小児科医や産婦人科医は、呼んで来れないけれど、それに変わるようなことを行っているということが大事かなと思う。

○（町民）おじいちゃん、おばあちゃんが近くにいないくて、助けてほしいという親は、たくさんいると思う。

○（議会）それと、町内に好みの物が売っていないという話であるが、それは、商店が多角化をしていくと言うか、皆さんのニーズを的確に把握をして、必要な物を売るという状況を作っていくということが、大事であると思う。

○（町民）ノートとかも、その学年に合うものを仕入れ、売ってほしい。

○（議会）産前産後のサポートは、岩見沢市で始めており、社協で行っている。札幌も1カ所で事業を始めた。先程、言われたようなニーズはかなりあると思う。岩見沢では、無料で20回のサポートを受けられる。また、買い物の話であるが、今は、町内に空き店舗が増え、自分たちの子どもが楽しくなるようなお店を自分たちで作れる環境である。そのような発想でやれば、もっと面白いことができるのと思う。

○（議会）普段の生活の中で、困っていることや要望したいことがあり、多くの方が望んでいるのであれば、それは行政サービスに成り得る。普段、思っていることを言ってもらい、それがどれくらいニーズがあるものなのかがわかれば、我々は、それを行政にお願いすることはできるので、遠慮なく言ってもらいたい。

○（町民）あそ雪の後、グラウンドに雪がずっと残っている。今もまだあり、野球少年団の練習ができないので、江別まで行っている。あそ雪の後、一日も早く使えるようにしてほしい。私の家は、農家なので、除雪機を持っていこうと思ったが、重機が入るのはダメと言われた。また、雪解け後、グラウンドにゴミがたくさんあるため、お母さんや子ども皆で、ゴミ拾いをしている。今年は、凄く汚いという話を聞いているので、その整理も要望したい。それと、阿蘇公園の遊具の話が出ていたが、遊具というより、変質者が出るので、どうにかしてほしい。子どもだけでは、遊びに行かせられない。どうしても公園の奥のほうは、人の目が届かないので危ない。

○（議会）グラウンドには機械を入れられないので、例年、連休前に、実行委員会で掃除している。

- （町民）もっと時期を早くしてもらいたい。
- （議会）要望しておく。江別まで練習に行っているということなので、もう少し早く使えるようにしたいと思う。機械は、多分、入れられないと思う。
- （町民）雪像の跡のところだけが、盛り上がっている。崩すときに、ばらしてもらえれば良いと思う。
- （議会）要望として受ける。また、公園の奥に、変質者が出るということは、初めて聞いたが、町に要望しておく。それと、阿蘇公園について、以前、町に聞いたときは、PTAや育成会等の人たちと協議を行い、場所はどこが良いのか。どのような遊具が良いのか。という打ち合わせをするとのことであったが、行ったのか。
- （町民）まだ、行っていない。
- （議会）そのことについても、伝えておく。
- （議会）阿蘇公園の遊具や清掃の関係で、担当の建設部と話しをしているが、変質者のことは聞いていない。行政は、発想力が乏しく、変質者対策等を考えるときには、根本的に阿蘇公園をどうするかという発想を持たないと、安全性は担保されない。ただ、国の制度を利用し、行おうとしたら、様々な壁があり、できることと、できないことが出てくる。できる範囲の中で行わなければならないが、今、国は、地元住民の声や安全性などを、しっかり見ようとしている。過去に、そのような危険な人が出たので、安全性に配慮した公園に変えたいという特別なことを国にお願いして補助金をもらおう。それができなければ、補助金は要らないから、町単独でもやってもらいたいということも言ってもいいと思う。少しお金が足りなかったら、皆でカンパしようということでも良いと思う。
- （町民）子どもを作りたくても作れない方が、最近増えているとよく耳にする。要は、不妊治療であるが、北海道では既に助成を始めている。しかし、それだけでは賅えないくらい、お金がかかるし、精神的な負担も多い。市町村で取り組んでいるところもあるので、当別町でも不妊治療に対する助成ができれば、良い町だと思ってもらえると思い、一つ要望させていただく。もう一点は質問で、何にお金をかけるかを考えたときに、やはり子どもにかけるということが多いかなと思う。人を増やすためには、外から人が入ってくることも重要な要素で、外から当別町を見たときに、どのような町であるのか。私は、凄く良い町であると思っていて、近くに札幌、江別、石狩、岩見沢があり、当別町内で全てが揃わないとしても、少し足を伸ばせば届く場所である。ただ、そこにあえて転入してくるかといったら、それなりのお金や家族の理解など色々と必要になるので、「よし、転入しよう。」という要素がないとなかなか決意できないと思う。その要素の一つが、雇用であると思うが、もう一つは、教育であるのかなと思う。「当別町の教育は、すごく良い。」と思ってもらえると、親は、多少お金を出してでも来るかもしれない。おそらく、重点項目に掲げる一貫教育が、この施策の中心であると思う。一貫教育が、当別町を町外へPRしうる大きなプロジェクトであると、皆さんもそのように考え取り組んでいるのか。
- （議会）小中一貫教育を議員としてどのように考えているのかということか。
- （町民）自分の子が小学校や中学校にいないためか、要は、情報が少なく、私のよ

うな今後小学校を控えている子を持つ親等には、具体的に、何がどのように良くなるのか、聞こえてこないので、広報なり、お考えなりを聞ければと思う。

○（議会）小中一貫教育については、私が議員になった10年以上前に、東京にある先駆的な一貫校に行って、勉強してきた。これは、当別町の子どもたちの将来のために成り得ると思った。学力の向上にも繋がり、人間的な成長も期待でき、非常に大きな効果があることから、長い期間取り組んできた。今年の4月から、分離型ではあるが始まった。情報が少ないという話しであったが、講演会や広報など色々な周知の活動はしているが、なかなか、伝わっていないのかなと思った。将来的には、小中が同じ校舎で進めていくことが理想的であると考えている。全国的にも、小中一貫教育の取り組みが進み、当別町だけが進めているわけではなく、周りの自治体でも進めているが、その効果には期待をしながら、取り組みを進めているという状況である。

○（議会）私も、10年ほど前に、東京にある小中一貫校の視察をしてきて、小学生と中学生が一体型の校舎で学び、向こうは電車で通学しているが、電車の中で中学生が小学生の面倒を良く見るとか、兄弟がいない子どもたちが、兄、姉、弟、妹ができたという感覚で良く面倒を見ているという報告を受けた。全体的には良いと思っているが、一方で、これだけ各家庭で価値観が違う中で、一つの基準が守られるか、守られないかというのは、多分あると思う。地域の一員としても、PTAとしても、学校や教育委員会と一体となって、進めていくということをやっていただきたいと思う。

○（町民）ありがとうございます。不妊治療の要望も、よろしく願います。

○（議会）病院の当番医について、町内の病院が持ち回りで行っているが、その中の一つが、子どもを全く診れないという病院がある。うちに小さい子がいて、夜に熱を出し、当番医がその病院であったので、電話をして、診てもらえるか聞いたら、「うちは、子どもを診れないからダメだよ。」と断られた。今一度、当番医の病院を精査し、子どもを診れないのであれば、当番医から外すなどの対応をしていただけたらと思う。

○（議会）そのようなことがあったときに、その子はどのようにしたのか。

○（町民）江別に行った。

○（議会）町外の救急病院を知っておくことは、大事であると思う。

○（町民）そのような状況を5、6件は聞いている。

○（議会）小児科ではないので、子どもは診れないということであると思う。

○（町民）それで、うちは、江別まで行った。

○（議会）診るだけでも、診てということはできるのか。

○（町民）診てくれても、薬がないようである。

○（議会）当別町の制度上、当番医は、内科系であり、原則、小児科は対象とはしていない。ただ、それが現状として子育てする環境にとって相応しいかという問題は別にあると思うが、おかしなことが行われているというわけではないので、ご理解いただければと思う。

○（議会）当別の当番医の場合は、江別市立病院とも提携しているので、そのような配慮のお願いも町からはしている。小児科や産科は、お医者さん自体が個人として責

任を持つ医療行為になり、なり手が少ないこともある。ただ、5人も6人もいるということは、大変なことである。薬も含め、議会から町にお伝えしたいと思う。

○（町民）当別ダムが完成し数年経っているが、今後、町として、例えば、レジャー施設、キャンプをできるよにするなどの展開や話は出ているのか。

○（議会）ダムを観光施設として使わないのかということか。

○（町民）景観がすばらしいので、今のままというよりは、人が来て、そこでキャンプできるような施設にするなどの話しは出ていないのか。

○（議会）具体的なものはないが、観光協会の中で、観光資源としての活用方法を協議している。

○（町民）生徒数が減り、先生も減っている。一番感じることは、昔は、先生が引っ越してきたら、子どもも一緒に連れて来ていた。今は、校長先生や教頭先生、独身の先生が住んでいるくらいで、家族を持った先生は全然引っ越してこない。役場の職員や農協の職員、できれば当別町で働いている人は、当別に住んでもらいたいと思う。中札内村農協では、地元に住んでいないと雇用しない。今、当別で働いている人をどのようにしたら住んでもらえるかということを考えることも必要であると思う。

○（議会）役場の職員も、当別町に在住するようという意見は、色々な方からも言われているし、議会の中でも質問している。ただ、人権的な部分があるので、当別町に住まなければならないというような規定はできないと思う。町としても議会としても、極力、当別町に住んでと言っているが、権利があるので、なかなか踏み込んでいけないという実情である。これからも、要望はしていきたい。

○（町民）要望であるが、2ヶ月前に、第2子が誕生し、妊産婦健康診査等交通助成事業というのがあるということを第2子が誕生してから、聞いた。乳幼児等医療費助成事業も、岩見沢で出産したが、岩見沢の病院で説明を受けた。できれば、妊娠がわかったときに当別町から、このような案内をしていただけたらありがたいと思う。

○（議会）おそらく、母子手帳を受け取るときに、そのパンフレットなりを渡していると思う。それは、伝え方の問題があるので、わかっていないということは、半分は行政に責任があると思う。その点は、徹底するようお願いしておく。

○（議会）以上で、懇談会を終わらせていただくが、今日は、皆さんから、色々な意見や要望があった。非常に良い懇談会であったと思う。今日あった意見や要望をもとに、議会内部で、町に要望することや議会で取り組むことなどを協議したいと思う。

◎高谷議員閉会挨拶

長い時間、大変ありがとうございました。今日は、具体的なお話をたくさんいただきました。これは、我々が持って帰って、議会活動、議員活動に生かしたいと思っておりますし、町に要望することは、要望していきたいと思っております。我々も、この機会を楽しみにしていますので、これからも、このような機会がありましたら、皆さんの貴重な意見を是非お聞かせいただけたらと思います。今日は、本当にありがとうございました。